

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 あーね		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 10日		令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 10日		令和6年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室が多い。 活動スペースが広い。	音に過敏な利用者様等、個々の特性に合わせた必要なスペースを整備している。 広いスペースを確保し、体を動かす様々な活動が提供できる。	必要に応じてアコーディオンカーテンを活用し、それぞれ利用者の課題や活動に合わせた空間作りをしていく。
2	多機能型の事業所のため切れ目のない支援ができる。	信頼関係を築いていき、慣れた職員と活動や課題を継続することで環境の変化による不安が軽減できる。	日々の活動の中で取り組んできたことが成功体験として積み上げられるよう様々な活動を実施していく。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	茶話会や保護者会の開催ができていない。	年中無休で営業しているため、営業後の夜に開催となってしまふ。	行事ごとがある際にはご家族様も参加できるような企画を立て、さらに兄弟同士の交流の場を設けられるよう検討し交流の場を広げていく。
2	地域との交流機会が不足している。	地域のこどもたちとの活動接点が作れていない。	地域のイベントに積極的に参加していく。また、日頃からの関わりを大切に、関係を深めながら連携できることを検討していく。
3			